

# 地域公共交通意見交換会（更木地区）

5月25日10時30分から、更木地区交流センターで、地域公共交通意見交換会が開催され、コミュニティバスに関する現状説明と、市と住民による意見交換が行われました。

## 概要

北上市企画部政策企画課より、あいさつと今回の意見交換会の趣旨説明がありました。

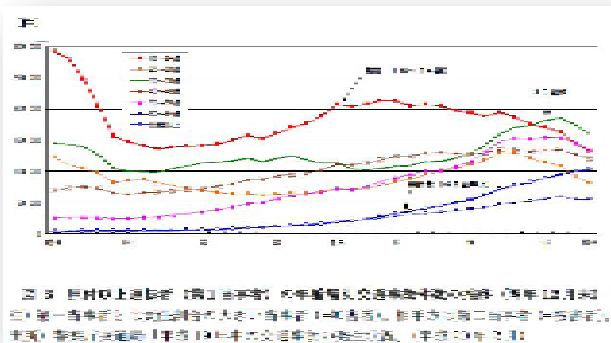
続いて、

「バスを公共が担う理由として

### 1．地球環境・低炭素型社会の実現

1人の人間が動く際のCO<sub>2</sub>排出量がバスは車の3割程度

### 2．交通事故の年代別推移

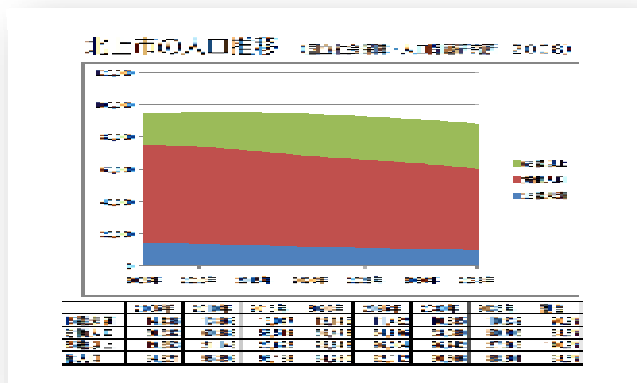


年々高齢者の事故率が上昇している

### 3．岩手県の人口推移

平成18年から30年間で岩手県の人口は、35万人減少（盛岡市と滝沢村を合わせたぐらいの人口）

### 4．北上市の人口推移



不況となり、だんだんと人口特に、（労働人口）は減ってきている。

### 5．国内旅客輸送量の分担率の変遷

乗用車が増えバスは減ってきている

### 6．バスの輸送人員の変遷

年々減少し、路線廃止も増加しているとの資料説明がありました。

その後、

「北上市では、21年度県立中部に繋がるコミュニティバスの路線が28000人乗ると見越していましたが、実際は22144人であり予定より約6000人少なく、金額にすると120万円の赤字の状況であります。

また、運行事業の収入内訳は利用者の運賃収入と市の補助金でまかなっています。昨年度の運行経費が、11,33万3千円でそのうち運賃収入は28%（金額にすると約300万円程度）

7割以上市の税金で補てんしています。

運行経費は人件費や車両整備費、ガソリン、自動車税などと県交通への管理費などが含まれています。

23年度運行の見通しとして、今までの運行を継続するのは難しいですがコミュニティバスが無くなるわけではありません。朝の第一便は、北上駅までの利用が多くそれ以降はほぼ使われていませんので、経路や運行曜日を大幅に変えることなく、効率的な運行を考えていきたいです。

今後、北上市の今後の公共交通のあり方として7月に勉強会をさせていただき10月頃からコミュニティバスの運行内容の変更についてまた皆さんと話し合いをし、23年度の変更内容をまとめていきたいです。」との現状説明がありました。

## 意見交換

説明が終わり、意見交換の時間には以下の意見が出されました。

- ・利用者が減っているが何か原因をつかんでいるのか
- ・交流センターに時刻表ありますか？とわざわざ聞きに来た人がいた
- ・色々な所に行くから、目的地まで行くのに時間がかかる
- ・路線がダブっている所は週に4日走っているということか
- ・村崎野駅から中部病院まで行くのにシャトルバスが出ているのか
- ・停留所の場所は自由に決められるのか
- ・時刻表に路面図をいれたらいいのでは
- ・図面があればどこに行くのか分かりやすい
- ・停留所の名前だけではどこに行くのか分からない
- ・路線図に病院の名前を入れて、協賛金を貰ってはどうか
- ・バス停まで行くのに時間がかかる人がいる
- ・過疎地有償運送を実行するにはハードルが高かったり、運送業者との調整があると思うので行政が動いてほしい
- ・主体的にやるのは地域だが、地域の要望を行政は積極的に動いてほしい
- ・使い勝手を向上し、利便性をよくした場合値上がりしても乗る人はいると思う
- ・予約応答型が良い人もいるかもしれない
- ・病院は花巻に行っているが、コミュニティバスは北上市内だけ。更木は花巻の方が近いから区域を延ばしてほしい
- ・予約応答型タクシーは雫石などでやっているが、タクシー会社がやっているのかそれともNPOや行政がやっているのか



そして最後に北上市企画部政策企画課より、「これから乗降調査をやるのでその時に利用者の声を聞き、今後も引き続き検討・調査していきます。

また、いろいろとアイデアを頂きましたができることから進めていきたいと思います。」とのお話があり、更木地区意見交換会が終了しました。

ちなみに他の地区ではこのような意見がありました。

- ・スクールバスを冬の間利用できればいいと思う
- ・朝一番の便が早すぎる
- ・乗り降りする人が少ないからといっても、バスが走っているのと走っていないのではだいぶ気持ちが違う。
- ・値上げしてもいいから家の近くまで来てほしい
- ・フリー区間では遠慮して手を挙げられない
- ・運転が乱暴な人がいる
- ・コミュニティバスについて、無知で関心の低い人が多いと思うのでもっと継続的なPRをした方がいい
- ・運行する曜日が変わり、利用者離れを助長したと思う

